

子どもの SOS にこたえるには？

～身近なおとなとしてできること～

元気そうに見える子どもたちも、実はいろいろな悩みを抱えています。帰宅後も明日の学校での自分の居場所を確保するために自分の意思と反する行動をとり、心が疲れてしまうことさえあります。子どもから様々な SOS を受け取ったとき、私たち大人はどう接したらよいのでしょうか？松本先生のお話を聞いて、一緒に考えてみませんか？

【講師】松本俊彦 (まつもと・としひこ)先生

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 部長
薬物依存症治療センター センター長



【経歴】

1993 年佐賀医科大学卒業。横浜市立大学医学部附属病院での初期臨床研修修了後、国立横浜病院精神科シニアレジデント、神奈川県立精神医療センター医師、横浜市立大学医学部附属病院精神科助手を経て、2004 年に国立精神・神経センター（現、国立精神・神経医療研究センター）精神保健研究所 司法精神医学研究部専門医療・社会復帰研究室長に就任。以後、同研究所 自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長、同 副センター長などを歴任し、2015 年より同研究所 薬物依存研究部 部長、2017 年より国立精神・神経医療研究センター 薬物依存症治療センター センター長を併任。

【学会等役員兼務】

日本アルコール・アディクション医学会理事・
日本精神科救急学会理事・日本社会精神医学会理事・NPO 法人八王子ダルク理事・
NPO 法人東京多摩いのちの電話理事・NPO 法人京都自死・自殺相談センター「Sotto」理事

【日時】2018 年 9 月 21 日(金) 10:00～12:00

【会場】かながわ県民センター2 階ホール (横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2)
JR・私鉄 横浜駅西口・きた西口より徒歩5分

【参加費】無料

【定員】260 名(先着順)

【お申し込み】

<http://www.kokuchpro.com/event/913d70bcb46443865016df6e6fad7d2e/>



申込み用 QR